

## 事業所向け 放課後等デイサービス・自己評価表（新森教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は、広くスペースを取って実施しています。また、クールダウンができるように、個室も確保しています。多人数が苦手な利用者様の療育にも利用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基本人員に、加配する体制を取っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関アプローチが階段のため、バリアフリー化は難しいですが、手すりなどを設置して対策をとっています。
業務 改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			それぞれのお子様の目標を設定し、療育前にその日の課題について話し合いの時間を設けています。療育後には振り返りと今後の課題についての話し合いをします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのアンケートの回答を参考に、スタッフにも周知して事業所の改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者外部外部評価制度は導入しておりません。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部(月1回)および外部の勉強会に参加しています。行政からいただく外部研修にも参加を心がけています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			送迎時や面談で保護者様からお子様の状態やニーズをお聞きしています。スタッフ間で話し合いを行い、計画や評価を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの得手不得手に沿った教材を用意して実施しています。見直しも適宜行っています。他機関での検査結果を頂いた際にも、療育に反映できるよう利用させて頂いています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			学習内容やグループワークのゲームは、スタッフで検討する時間を設けています。学びと楽しみを得られる遊びを実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じたイベントを企画・実施しています。防災学習を楽しく学べるように取り入れています。

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		通常は事業所で作成した課題を用意し、長期休暇の際には宿題等に対応するなど、お子様のニーズに合わせて支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれのお子様に合わせて、個別学習とグループワークを組み合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にはお子様の活動や支援内容について打合せを行っています。スタッフの役割分担も決めて実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			スタッフ同士で、お子様の事や、他のスタッフの対応についても良かったこと・気づいたことを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			学習記録等で記録を取り、情報共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者様と面談を行い、計画の作成や評価の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個別学習の時間・集団活動であるグループワークの時間を組み合わせ合わせてプログラムを作っています。
保護者や関係機関との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者とお子様の担当者が参加をします。いただいた情報は教室内の全スタッフで共有しています。
	21	学校との情報共有、連絡調整等を適切に行っているか		○		送迎がないため、学校と頻りに共有することは難しいです。ただ、利用者様に大きな変化がある場合や、保護者様が希望する場合は、連携会議等を設けて情報共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		契約時に保護者様へ持病やアレルギーの有無をお聞きすること、かかりつけ医などをあらかじめお聞きするように努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		契約時に保護者様から情報を頂く形です。必要に応じて、共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者様・お子様のニーズをお聞きしながら、移行のサポートや連携を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今後、積極的に行っていきたいと考えています。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後、機会があれば参加させて頂きたいです。

	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に学習の様子をお伝えしたり、毎月学習の記録をお渡ししています。送迎に來れない場合にも、気になることがある時にはこちらからご連絡しています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		勉強方法など、ご家庭でも取り組んでいただける内容をお伝えしています。お子様への接し方などの相談にも対応しています。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にお伝えしています。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主に管理者・児童発達支援責任者が面談を行っています。学習面については、担当職員が相談等に応じています。
	31	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後、実施する形式を考えたいと思います。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情等があった際には、真摯に受け止め、職員間でしっかり共有・話し合いを行い、その結果を保護者様にお伝えしています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ内のブログを小まめに更新したり、連絡事項はお手紙をお渡しするなど、保護者様にわかりやすい工夫をしています。
	34	個人情報に十分注意しているか	○		個人名が入った書類等が不要になった際には必ずシュレッダーにかけます。ブログ等への写真掲載の可否も保護者様に確認しています。
	35	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時に共有や、積極的に利用者様にお声掛けさせていただいています。
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		それぞれマニュアルを作成しており、職員・保護者様へ周知しています。
非常時等の対応	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防災学習を年に2度実施しています。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内のマニュアルや大阪府虐待防止研修資料等を用いて研修を行っています。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に説明し、同意書を頂いています。やむを得ず行った場合には、説明をして詳細を書面でお渡します。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		初回面接の際に、保護者様から聞き取りを行い、対応しています。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所の全教室の事例の情報共有をして、事故防止に努めています。